

受益者のみなさまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。
さて、「フィデリティ世界医療機器関連株ファンド(為替ヘッジあり)」と「フィデリティ世界医療機器関連株ファンド(為替ヘッジなし)」は、第18期の決算を行いました。当ファンドは、主として世界(日本を含みます。)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている医療機器関連の機器、設備、技術等を提供する企業の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を図ることを目的に運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

運用報告書
(全体版)

第18期(決算日 2025年12月15日)

計算期間(2025年6月17日~2025年12月15日)

当ファンドは、特化型運用を行います。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
信託期間	追加型投信／内外／株式	原則無期限です。
運用方針	●フィデリティ世界医療機器関連株マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界(日本を含みます。)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている医療機器関連の株式を主要な投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。 ●FIAM LLCIに、運用の指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビー ファンド	フィデリティ世界医療機器関連株マザーファンド受益証券を主要な投資対象とします。
	マザーファンド	世界(日本を含みます。)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている医療機器関連の株式を主要な投資対象とします。
組入制限	ベビー ファンド	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 株式への実質投資割合には、制限を設けません。 同一銘柄の株式への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の35%以下とします。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 株式への投資割合には、制限を設けません。 同一銘柄の株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の35%以下とします。
分配方針	毎決算時(原則6月、12月の各15日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の収益分配方針に基づき分配を行います。 ●分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ●収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 ●留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

〈お問合せ先〉

フィデリティ投信株式会社 カスタマー・コミュニケーション部
東京都港区六本木七丁目7番7号 TRI-SEVEN ROPPONGI

 0570-051-104

受付時間: 営業日の午前9時~午後5時

固定電話、携帯電話からお問い合わせいただけます。

国際電話、一部のIP電話からはご利用いただけません。

 <https://www.fidelity.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお尋ねください。

フィデリティ世界医療機器関連株ファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

フィデリティ投信株式会社

 **Fidelity**
INTERNATIONAL

《**フィディリティ世界医療機器関連株ファンド（為替ヘッジあり）**》

■最近5期の運用実績

決算期 (分配落)	基準価額					株式組入等 比率	株先物比率	純資産額
	税分配 分	込金	期騰	中落率				
14期 (2023年12月15日)	円 9,458	円 0		% △9.2		% 96.2	% —	百万円 7,145
15期 (2024年6月17日)	9,742	0		3.0		102.3	—	6,142
16期 (2024年12月16日)	10,134	50		4.5		101.7	—	5,323
17期 (2025年6月16日)	9,321	0		△8.0		100.4	—	4,297
18期 (2025年12月15日)	9,650	0		3.5		98.9	—	3,739

(注1) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークは設定しておりません。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率等」「株式先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 株式先物比率=買建比率-売建比率

■当期中の基準価額の推移

年月日	基準価額			株式組入等 比率	株先物比率	式率
	騰	落	率			
(期首) 2025年6月16日	円 9,321		% —		% 100.4	% —
6月末	9,537		2.3		97.9	—
7月末	9,454		1.4		100.1	—
8月末	9,375		0.6		96.2	—
9月末	8,926		△4.2		99.1	—
10月末	9,543		2.4		100.0	—
11月末	10,136		8.7		100.3	—
(期末) 2025年12月15日	9,650		3.5		98.9	—

(注) 謄落率は期首比です。

《**フィディリティ世界医療機器関連株ファンド**（為替ヘッジなし）》

■最近5期の運用実績

決算期 (分配落)	基準価額					株式組入等 比率	株先物比率	純資産額 百万円
	税分 配	込 金	期 騰 落	中 率				
14期 (2023年12月15日)	円 11,550	円 400		% △4.5		% 99.0	% —	百万円 34,175
15期 (2024年6月17日)	12,716	850		17.5	100.7		—	31,874
16期 (2024年12月16日)	12,562	800		5.1	102.2		—	28,146
17期 (2025年6月16日)	10,774	250		△12.2	99.9		—	22,576
18期 (2025年12月15日)	11,701	600		14.2	98.5		—	21,223

(注1) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指效がないためベンチマークは設定しておりません。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率等」「株式先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 株式先物比率=買建比率-売建比率

■当期中の基準価額の推移

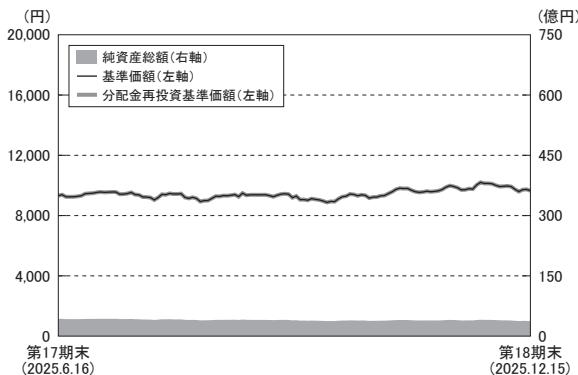
年月日	基準価額			株式組入等 比率	株先物比率	式率
	騰	落	率			
(期首) 2025年6月16日	円 10,774		% —		% 99.9	% —
6月末	11,071		2.8		98.1	—
7月末	11,364		5.5		98.1	—
8月末	11,127		3.3		96.5	—
9月末	10,779		0.0		97.8	—
10月末	11,946		10.9		98.8	—
11月末	12,928		20.0		100.5	—
(期末) 2025年12月15日	12,301		14.2		98.5	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

■運用経過の説明

●基準価額等の推移

為替ヘッジあり

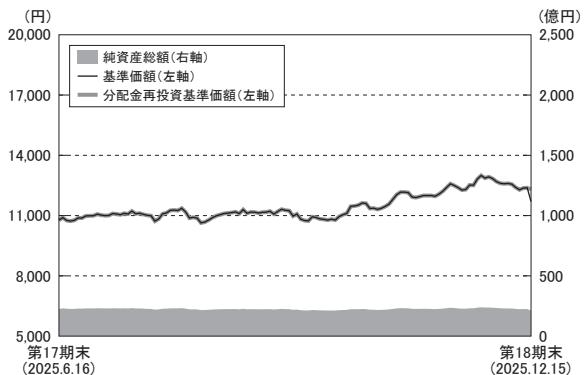


第18期首: 9,321円

第18期末: 9,650円(既払分配金0円)

騰落率: 3.5%(分配金再投資ベース)

為替ヘッジなし



第18期首: 10,774円

第18期末: 11,701円(既払分配金600円)

騰落率: 14.2%(分配金再投資ベース)

(注)分配金再投資基準価額は、2025年6月16日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

●基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドの騰落率は、為替ヘッジありで+3.5%、為替ヘッジなしで+14.2%でした。

当ファンドは、フィデリティ世界医療機器関連株マザーファンド受益証券を組み入れることにより実質的な運用を当該マザーファンドにおいて行っております。

<プラス要因>

医療機器関連株が上昇したこと。

為替ヘッジなしでは、米ドルに対して円安となったこと。

<マイナス要因>

特になし。

●投資環境

当期の世界株式相場は前期末比で上昇し、MSCIワールド・インデックスのリターンは+13.1%となりました（現地通貨ベース）。

期初は、AIやクラウドサービスなどの成長性に対し期待が高まる中、株価は上昇しました。7月は、トランプ米政権の医療保険減額を含む歳出法可決などを背景に、株価は下落しました。8月は、インフレ懸念や雇用下振れリスクはあるものの、堅調な企業業績や政策金利引き下げ観測、トランプ米大統領の医療費削減の取り組みが市場を支え、株価は上昇しました。9月は、トランプ米大統領の政府閉鎖や医薬品に対する追加関税の方針を受けて、株価は下落しました。10月は、米連邦準備制度理事会(FRB)の利下げや、米中の関税政策緩和、AI関連の活発な投資計画に支えられ、地方銀行の不正融資疑惑が嫌気されたものの、株価は上昇しました。11月は、FRBの利下げ期待や、トランプ米大統領の政府閉鎖解除や保険料補助金延長の報道を受け、株価は上昇しました。期末にかけて、企業業績などのファンダメンタルは堅調ながら、市場センチメントは慎重姿勢がやや強まり、株価は調整局面に入りました。

●ポートフォリオ

フィデリティ世界医療機器関連株マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として世界（日本を含みます。）の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている医療関連の機器、設備、技術等を提供する企業の株式に投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的に運用を行ないます。なお、当ファンドにおける組入業種の比率は以下の通りとなりました。

組入上位業種

前期末

	業種	比率
1	ヘルスケア機器・サービス	72.2%
2	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	28.5

当期末

	業種	比率
1	ヘルスケア機器・サービス	60.9%
2	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	39.2

（注）「比率」欄は、マザーファンドの純資産総額に対する割合です。

●ベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指標がないためベンチマーク及び参考指標は設定しておりません。

■分配金

為替ヘッジあり

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきました。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

●分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項目	第18期
	2025年6月17日～2025年12月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	0 -%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,865

為替ヘッジなし

当期の1万口当たり分配金(税引前)は、分配方針に基づき下記表中の分配額とさせていただきました。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

●分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項目	第18期
	2025年6月17日～2025年12月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	600 4.88%
当期の収益	28
当期の収益以外	571
翌期繰越分配対象額	1,700

*「当期の収益」および「当期の収益以外」は円未満切捨てのため、合計額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

*当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

*投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」が当該決算期末日時点の基準価額を上回ることがあります、実際には基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

■今後の運用方針

当ファンドにつきましては、フィデリティ世界医療機器関連株マザーファンド受益証券を組み入れることにより、実質的な運用を当該マザーファンドにて行います。医療機器関連セクターは、先進国の高齢化、新興国の所得向上に伴う医療需要の拡大に加え、医療の高度化、効率化、デジタル化など構造的かつ長期的な成長要因に支えられています。不要不急の医療行為の需要の高まりを背景に今後病院の利用度は力強く回復すると見込まれ、医療機器関連企業の先行きは堅調であると考えられます。一方、米国のトランプ大統領による政策などに対しては、先行き不透明感が根強く残っています。今後も徹底した個別企業調査を実施し、成長性や企業価値が市場で正しく評価されておらず、株価の成長余力があると判断される銘柄に選別投資する方針です。

当ファンドでは、以下の長期的なテーマに関わる企業に着目していきます。

・医療関連分野のコスト削減に貢献し、コスト削減への圧力が高まる環境下に適応するビジネス・モデルを活用する企業

・自己負担医療の増加や在宅医療などの“医療の消費者化”の恩恵を受ける企業

・患者一人ひとりに合ったオーダーメイド医療や、より高度なスマート医療の提供を実現する企業

・急速かつ世界的な成長トレンドに対応し、さらには製品やサービスの価格への依存度が低い企業

・米国における医療サービス提供システムの構造変化から恩恵を受ける企業

これらを踏まえて徹底した個別企業調査を実施し、成長性や企業価値が市場で正しく評価されておらず、今後の株価成長余力があると判断される銘柄に選別投資する方針です。

『フィデリティ世界医療機器関連株ファンド（為替ヘッジあり）』

■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

項目	第18期		項目の概要	
	2025年6月17日～2025年12月15日			
	金額	比率		
(a)信託報酬	92円	0.971%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,447円です。 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内のファンドの管理及び事務手続き等の対価 運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価	
(投信会社)	(44)	(0.466)		
(販売会社)	(47)	(0.494)		
(受託会社)	(1)	(0.011)		
(b)売買委託手数料	1	0.015	(b)売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料	
(株式)	(1)	(0.015)		
(c)有価証券取引税	0	0.004	(c)有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金	
(株式)	(0)	(0.004)		
(d)その他費用	3	0.028	(d)その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。 監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用 その他には、法定書類等（有価証券届出書、目論見書、運用報告書等）の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。	
(保管費用)	(1)	(0.016)		
(監査費用)	(0)	(0.005)		
(その他)	(1)	(0.008)		
合計	96	1.018		

(注1)期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

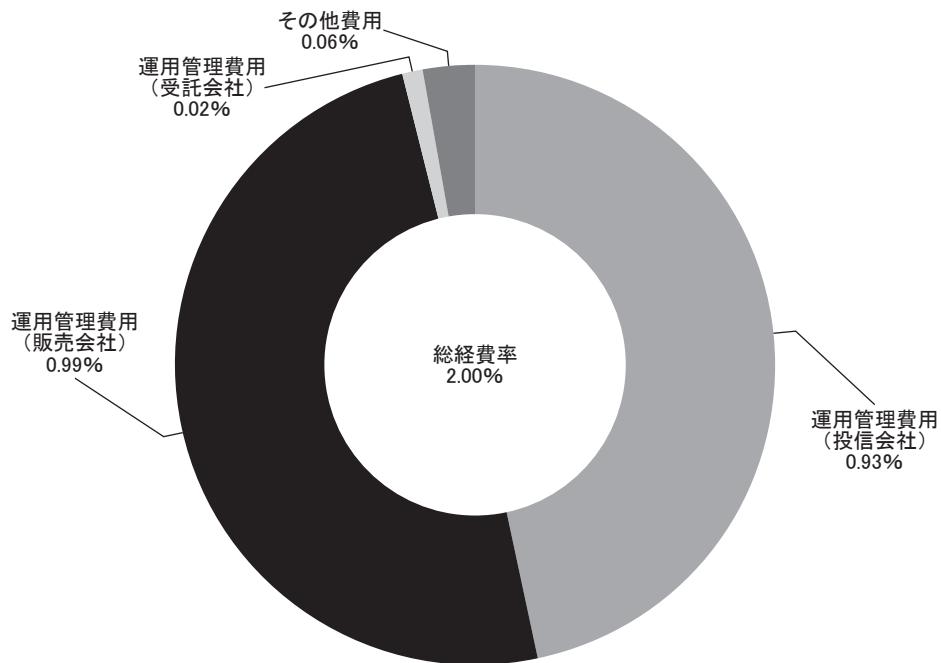
(注2)「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

(注3)「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は2.00%です。



(注1)1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)その他費用には、保管費用、監査費用以外に法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。

(注4)各比率は、年率換算した値です。

(注5)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2025年6月17日から2025年12月15日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
フィデリティ世界医療機器関連株マザーファンド	千口 40	千円 136	千口 329,653	千円 1,168,413

(注) 金額の単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	フィデリティ世界医療機器関連株マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	27,821,170千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	39,958,579千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.69

(注1) 売買高比率は小数点以下2位未満切捨て。

(注2) 期中の株式売買金額には、増資、配当株式等は含まれておりません。なお、単位未満は切捨て。

(注3) 期中の平均組入株式時価総額は、月末に残高がない月数を除いた単純平均とし、単位未満は切捨て。

(注4) 外貨建株式の邦貨換算は、期中の株式売買金額、期中の平均組入株式時価総額とも各月末(決算日の属する月については決算日)の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

■利害関係人との取引状況等 (2025年6月17日から2025年12月15日まで)

期中ににおける当ファンドに係る利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細 (2025年12月15日現在)

●親投資信託残高

種 類	期 首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
フィデリティ世界医療機器関連株マザーファンド	千口 1,317,422	千口 987,809	千円 3,696,776

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2025年12月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
フィデリティ世界医療機器関連株マザーファンド	千円 3,696,776	% 96.8
コ ー ル・ロ ー ン 等、そ の 他	120,358	3.2
投 資 信 託 財 産 総 額	3,817,135	100.0

(注1) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、12月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=156.02円、1オーストラリア・ドル=103.71円、1ユーロ=183.04円です。

(注2) フィデリティ世界医療機器関連株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建資産(41,210,439千円)の投資信託財産総額(41,486,530千円)に対する比率は、99.3%です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年12月15日現在)

項目	当期末	円
(A) 資産	7,486,999,945	
コール・ローン等	258,738	
ファイデリティ世界医療機器関連株 マザーファンド(評価額)	3,696,776,936	
未収入金	3,789,964,271	
(B) 負債	3,747,577,907	
未払金	3,670,736,688	
未払解約金	37,368,517	
未払信託報酬	38,949,376	
その他未払費用	523,326	
(C) 純資産総額(A-B)	3,739,422,038	
元本	3,875,193,225	
次期繰越損益金	△135,771,187	
(D) 受益権総口数	3,875,193,225口	
1万口当たり基準価額(C/D)	9,650円	

(注1) 当期における期首元本額4,609,805,391円、期中追加設定元本額12,137,123円、期中一部解約元本額746,749,289円です。

(注2) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

■損益の状況

当期 自2025年6月17日 至2025年12月15日

項目	当期	円
(A) 有価証券売買損益	166,700,963	
売買益	600,861,909	
売買損	△434,160,946	
(B) 信託報酬等	△39,564,940	
(C) 当期損益金(A+B)	127,136,023	
(D) 前期繰越損益金	△1,129,500,605	
(E) 追加信託差損益金	866,593,395	
(配当等相当額)	(671,500,392)	
(売買損益相当額)	(195,093,003)	
(F) 合計(C+D+E)	△135,771,187	
次期繰越損益金(F)	△135,771,187	
追加信託差損益金	866,593,395	
(配当等相当額)	(671,503,618)	
(売買損益相当額)	(195,089,777)	
分配準備積立金	243,649,338	
繰越損益金	△1,246,013,920	

(注1) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものも含みます。

(注2) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税相当額を含めて表示しています。

(注3) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、純資産総額に対して年0.38%以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

(注5) 分配金の計算過程は以下の通りです。

	当期
(a) 費用控除後の配当等収益	4,817,315円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益	0円
(c) 収益調整金	866,593,395円
(d) 分配準備積立金	238,832,023円
(e) 分配可能額(a+b+c+d)	1,110,242,733円
1万口当たり分配可能額	2,865.00円
(f) 分配金額	0円
1万口当たり分配金額(税引前)	0円

『フィデリティ世界医療機器関連株ファンド（為替ヘッジなし）』

■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

項目	第18期		項目の概要	
	2025年6月17日～2025年12月15日			
	金額	比率		
(a)信託報酬	111円	0.971%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,453円です。 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内のファンドの管理及び事務手続き等の対価 運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価	
(投信会社)	(53)	(0.466)		
(販売会社)	(57)	(0.494)		
(受託会社)	(1)	(0.011)		
(b)売買委託手数料	2	0.015	(b)売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料	
(株式)	(2)	(0.015)		
(c)有価証券取引税	0	0.003	(c)有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金	
(株式)	(0)	(0.003)		
(d)その他費用	2	0.020	(d)その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。 監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用 その他には、法定書類等（有価証券届出書、目論見書、運用報告書等）の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。	
(保管費用)	(2)	(0.013)		
(監査費用)	(0)	(0.003)		
(その他)	(0)	(0.004)		
合計	116	1.009		

(注1)期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

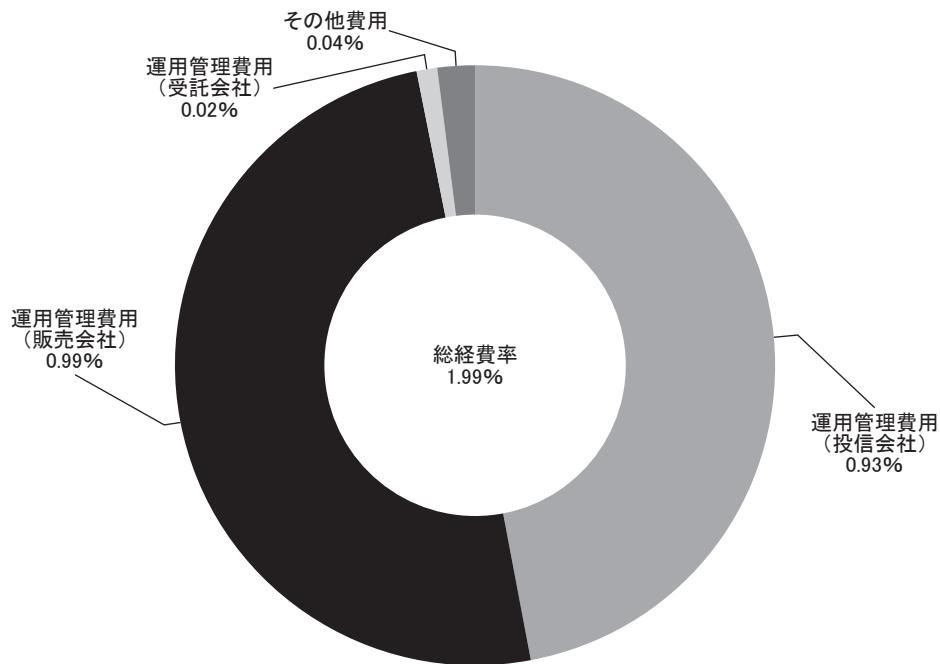
(注2)「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

(注3)「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.99%です。



(注1)1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)その他費用には、保管費用、監査費用以外に法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。

(注4)各比率は、年率換算した値です。

(注5)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2025年6月17日から2025年12月15日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
フィデリティ世界医療機器関連株マザーファンド	千口 115,238	千円 375,439	千口 1,414,568	千円 5,081,404

(注) 金額の単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	フィデリティ世界医療機器関連株マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	27,821,170千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	39,958,579千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.69

(注1) 売買高比率は小数点以下2位未満切捨て。

(注2) 期中の株式売買金額には、増資、配当株式等は含まれておりません。なお、単位未満は切捨て。

(注3) 期中の平均組入株式時価総額は、月末に残高がない月数を除いた単純平均とし、単位未満は切捨て。

(注4) 外貨建株式の邦貨換算は、期中の株式売買金額、期中の平均組入株式時価総額とも各月末(決算日の属する月については決算日)の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

■利害関係人との取引状況等 (2025年6月17日から2025年12月15日まで)

期中ににおける当ファンドに係る利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細 (2025年12月15日現在)

●親投資信託残高

種 類	期 首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
フィデリティ世界医療機器関連株マザーファンド	千口 6,882,865	千口 5,583,535	千円 20,895,821

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2025年12月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
フィデリティ世界医療機器関連株マザーファンド	千円 20,895,821	% 92.6
コ ー ル・ロ ー ン 等、そ の 他	1,664,917	7.4
投 資 信 託 財 産 総 額	22,560,738	100.0

(注1) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、12月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=156.02円、1オーストラリア・ドル=103.71円、1ユーロ=183.04円です。

(注2) フィデリティ世界医療機器関連株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建資産(41,210,439千円)の投資信託財産総額(41,486,530千円)に対する比率は、99.3%です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年12月15日現在)

項目	当期末
(A) 資産	22,560,738,914 円
コール・ローン等	7,879,086
フィデリティ世界医療機器関連株 マザーファンド(評価額)	20,895,821,660
未収入金	1,657,038,168
(B) 負債	1,337,554,950
未払収益分配金	1,088,309,953
未払解約金	28,960,829
未払信託報酬	218,675,098
その他未払費用	1,609,070
(C) 純資産総額(A-B)	21,223,183,964
元本	18,138,499,233
次期繰越損益金	3,084,684,731
(D) 受益権総口数	18,138,499,233口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,701円

(注1) 当期における期首元本額20,955,257,726円、期中追加設定元本額445,698,712円、期中一部解約元本額3,262,457,205円です。

(注2) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

■損益の状況

当期 自2025年6月17日 至2025年12月15日

項目	当期
(A) 有価証券売買損益	2,972,794,622
売　　買　　益	3,202,820,674
売　　買　　損	△230,026,052
(B) 信託報酬等	△220,284,168
(C) 当期損益金(A+B)	2,752,510,454
(D) 前期繰越損益金	△2,412,185,934
(E) 追加信託差損益金	3,832,670,164
(配当等相当額)	(1,889,063,420)
(売買損益相当額)	(1,943,606,744)
(F) 合計(C+D+E)	4,172,994,684
(G) 収益分配金	△1,088,309,953
次期繰越損益金(F+G)	3,084,684,731
追加信託差損益金	3,084,684,731
(配当等相当額)	(1,141,207,363)
(売買損益相当額)	(1,943,477,368)

(注1) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税相当額を含めて表示しています。

(注3) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するための費用として、純資産総額に対して年0.38%以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

(注5) 分配金の計算過程は以下の通りです。

	当期
(a) 費用控除後の配当等収益	32,911,784円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益	19,370,498円
(c) 収益調整金	3,832,670,164円
(d) 分配準備積立金	288,042,238円
(e) 分配可能額(a+b+c+d)	4,172,994,684円
1万口当たり分配可能額	2,300.63円
(f) 分配金額	1,088,309,953円
1万口当たり分配金額(税引前)	600円

■分配金のお知らせ

決 算 期	年 月 日	1万口当たりの分配金（税込）
第18期	2025年12月15日	600円

(注1) 受益者が収益分配金を受け取る際、収益分配金落ち後の基準価額が個別元本と同額の場合または個別元本を上回っている場合には、収益分配金の全額が普通分配金となり、収益分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となります。

(注2) 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、収益分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

(注3) 個人の受益者が受け取る普通分配金に対する課税について、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%)の税率で源泉徴収(申告不要)されます。

※外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人の受益者の場合は取扱いが異なります。

※税法が改正された場合等には、内容が変更となる場合があります。

フィデリティ世界医療機器関連株マザーファンド

運用報告書

《第9期》

決算日 2025年12月15日

(計算期間: 2024年12月17日から2025年12月15日まで)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	●世界（日本を含みます。）の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている医療機器関連の株式を主要な投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。 ●FIAM LLCに、運用の指図に関する権限を委託します。
主要運用対象	世界（日本を含みます。）の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている医療機器関連の株式を主要な投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 株式への投資割合には、制限を設けません。 同一銘柄の株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の35%以下とします。

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			株 式 組 入 等	株 先 物 比 式 率	純 総 資 産 額
	期 謄	中 落	率			
5期 (2021年12月15日)	円 29,005	% 33.6		% 100.3	% —	百万円 87,876
6期 (2022年12月15日)	28,466	△1.9		100.1	—	71,679
7期 (2023年12月15日)	29,112	2.3		99.4	—	54,990
8期 (2024年12月16日)	36,705	26.1		102.9	—	49,298
9期 (2025年12月15日)	37,424	2.0		100.1	—	39,623

(注1) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークは設定しておりません。

(注2) 株式先物比率=買建比率-売建比率

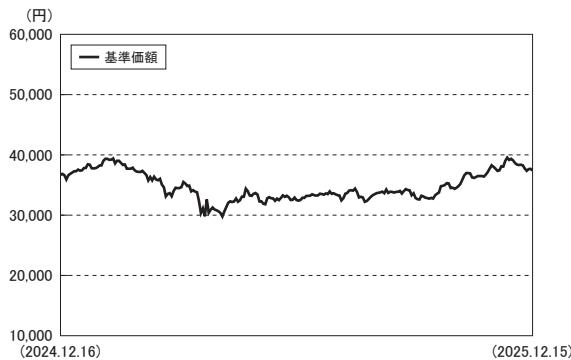
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額			株 式 組 入 等	株 先 物 比 式 率
	騰	落	率		
(期 首) 2024年12月16日	円 36,705	% —		% 102.9	% —
12月末	37,392	1.9		99.3	—
2025年1月末	39,029	6.3		99.3	—
2月末	35,765	△2.6		98.0	—
3月末	33,941	△7.5		97.7	—
4月末	32,188	△12.3		96.9	—
5月末	32,807	△10.6		98.8	—
6月末	33,464	△8.8		98.1	—
7月末	34,407	△6.3		97.9	—
8月末	33,742	△8.1		96.1	—
9月末	32,749	△10.8		97.2	—
10月末	36,331	△1.0		98.1	—
11月末	39,350	7.2		99.7	—
(期 末) 2025年12月15日	37,424	2.0		100.1	—

(注) 謄落率は期首比です。

■運用経過の説明

●基準価額の推移



●運用経過

当期中、ファンドの騰落率は、+2.0%でした。

当期につきましては、米国など先進国の高齢化、経済成長に伴う新興国の医療需要の拡大、医療技術の発展と新製品の増加、医療の効率化、IT化などの恩恵を受けると判断された銘柄を、主として組み入れる運用方針で臨みました。

●投資環境

当期の世界株式相場は前期末比で上昇し、MSCIワールド・インデックスのリターンは+15.1%となりました(現地通貨ベース)。

期初から年末にかけては、トランプ次期米政権による関税引き上げや減税といった政策がインフレを再燃させるとの懸念が重しとなり、株価は軟調に推移しました。2025年1月は、雇用環境は引き続き良好な状況が維持され、また、景況感指数も上昇を示したことが好感され、株価は上昇しました。2月から3月にかけては、トランプ政権の不透明な政策運営は企業や家計の重石となり、米国経済を停滞させるとの懸念が広がり、株価は下落しました。4月は、米国が大規模な関税引き上げを発表したことから、経済の先行きへの不安が高まり、株価は下落しました。5月は、米国が関税引き上げ緩和の動きを見せたことが好感されました。加えて、米連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル議長に対する解任要求についてトランプ米大統領が否定したことでも安心材料となり、株価は上昇しました。6月は、AIやクラウドサービスなどの成長性に対し期待が高まる中、株価は上昇しました。7月は、トランプ米政権の医療保険減額を含む歳出法可決などを背景に、株価は下落しました。8月は、インフレ懸念や雇用下振れリスクはあるものの、堅調な企業業績や政策金利引き下げ観測、トランプ米大統領の医療費削減の取り組みが市場を支え、株価は上昇しました。9月は、トランプ米大統領の政府閉鎖や医薬品に対する追加関税の方針を受けて、株価は下落しました。10月は、FRBの利下げや、米中の関税政策緩和、AI関連の活発な投資計画に支えられ、地方銀行の不正融資疑惑が嫌気されたものの、株価は上昇しました。11月は、FRBの利下げ期待や、トランプ米大統領の政府閉鎖解除や保険料補助金延長の報道を受け、株価は上昇しました。期末にかけて、企業業績などのファンダメンタルは堅調ながら、市場センチメントは慎重姿勢がやや強まり、株価は調整局面に入りました。

■今後の運用方針

医療機器関連セクターは、先進国の高齢化、新興国の所得向上に伴う医療需要の拡大に加え、医療の高度化、効率化、デジタル化など構造的かつ長期的な成長要因に支えられています。不要不急の医療行為の需要の高まりを背景に今後病院の利用度は力強く回復すると見込まれ、医療機器関連企業の先行きは堅調であると考えられます。一方、米国のトランプ大統領による政策などに対しては、先行き不透明感が根強く残っています。今後も徹底した個別企業調査を実施し、成長性や企業価値が市場で正しく評価されておらず、株価の成長余力があると判断される銘柄に選別投資する方針です。

当ファンドでは、以下の長期的なテーマに関わる企業に着目していきます。

- ・医療関連分野のコスト削減に貢献し、コスト削減への圧力が高まる環境下に適応するビジネス・モデルを活用する企業
- ・自己負担医療の増加や在宅医療などの“医療の消費者化”の恩恵を受ける企業
- ・患者一人ひとりに合ったオーダーメイド医療や、より高度なスマート医療の提供を実現する企業
- ・急速かつ世界的な成長トレンドに対応し、さらには製品やサービスの価格への依存度が低い企業
- ・米国における医療サービス提供システムの構造変化から恩恵を受ける企業

これらを踏まえて徹底した個別企業調査を実施し、成長性や企業価値が市場で正しく評価されておらず、今後の株価成長余力があると判断される銘柄に選別投資する方針です。

■1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

（2024年12月17日～2025年12月15日）

項目	金額
(a)売買委託手数料 (株式)	8円 (8)
(b)有価証券取引税 (株式)	2 (2)
(c)その他費用 (保管費用)	8 (8)
合計	17

（注）費用明細の項目の概要および注記については、前述の「1万口（元本10,000円）当たりの費用明細」をご参照ください。

■売買及び取引の状況 (2024年12月17日から2025年12月15日まで)

●株式

	買付		売付	
	株数	金額	株数	金額
国内	千株	千円	千株	千円
上場	—	(—)	20	49,925
未上場	—	—	—	—
外国	百株		百株	
アメリカ	18,974.28 (△2,613.34)	千アメリカ・ドル 133,081 (—)	26,525.94	千アメリカ・ドル 210,519
オーストラリア	2,000 (—)	千オーストラリア・ドル 301 (—)	—	千オーストラリア・ドル —
ヨーロ		千ユーロ		千ユーロ
フランス	184 (—)	3,513 (—)	74	1,470

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	52,454,644千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	42,202,850千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	1.24

(注1) 売買高比率は小数点以下2位未満切捨て。

(注2) 期中の株式売買金額には増資、配当株式等は含まれておりません。なお、単位未満は切捨て。

(注3) 期中の平均組入株式時価総額は、月末に残高がない月数を除いた単純平均とし、単位未満は切捨て。

(注4) 外貨建株式の邦貨換算は、期中の株式売買金額、期中の平均組入株式時価総額とも各月末（決算日の属する月については決算日）の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

■利害関係人との取引状況等 (2024年12月17日から2025年12月15日まで)

期中における当ファンドに係る利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細 (2025年12月15日現在)

(1) 国内株式

上場株式

銘　　柄	期首(前期末)			当　期　末		
	株　　数	株　　数	評　価　額	株　　数	千円	千円
精密機器 (100.0%)	千株	千株				
朝日インテック	100	80	238,240			
合計	株　　数・金額	千株	千円	株　　数	千円	
		100	238,240	80		
	銘柄数(比率)	1銘柄	<0.6%	1銘柄		

(注1) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の()内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国株式

上場、登録株式

銘　　柄	期首(前期末)		当　期　末			業　種　等	
	株　　数	株　　数	評　価　額				
			外貨建金額	邦貨換算金額			
(アメリカ・・・NASDAQ)							
ICU MEDICAL INC	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		ヘルスケア機器・サービス	
REPLIGEN	232	28	415	64,842		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
COOPER COMPANIES INC	—	325	5,115	798,069			
ALIGN TECHNOLOGY INC	700	—	—	—		ヘルスケア機器・サービス	
INTUITIVE SURGICAL INC	50	—	—	—		ヘルスケア機器・サービス	
EXACT SCIENCES CORP	495	360	19,523	3,046,059		ヘルスケア機器・サービス	
BIO TECHNE CORP	1,080	80	812	126,688		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
INSULET CORP	—	528	3,089	481,996		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
10X GENOMICS INC	585	300	8,871	1,384,053		ヘルスケア機器・サービス	
OUTSET MEDICAL INC	1,800	1,408	2,176	339,619		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
LIFESTANCE HEALTH GROUP INC	2,800	—	—	—		ヘルスケア機器・サービス	
PROCEPT BIOROBOTICS CORP	2,800	—	—	—		ヘルスケア機器・サービス	
PRIVIA HEALTH GROUP INC	585	418	1,504	234,713		ヘルスケア機器・サービス	
CERIBELL INC	1,500	—	—	—		ヘルスケア機器・サービス	
KESTRA MEDICAL TECHNOLOGIES INC	350	—	—	—		ヘルスケア機器・サービス	
OMADA HEALTH INC	—	720	1,884	293,979		ヘルスケア機器・サービス	
CARIS LIFE SCIENCES INC	—	600	906	141,354		ヘルスケア機器・サービス	
HEARTFLOW INC	—	1,000	2,676	417,509		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
BRUKER CORP	—	500	1,324	206,570		ヘルスケア機器・サービス	
MASIMO CORP	950	240	1,083	168,988		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
NATERA INC	900	820	11,343	1,769,872		ヘルスケア機器・サービス	
VERACYTE INC	140	134	3,108	484,930		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
WAYSTAR HOLDING CORP	576	690	2,955	461,188		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
(アメリカ・・・ニューヨーク証券取引所)	—	1,500	4,897	764,107		ヘルスケア機器・サービス	
ABBOTT LABORATORIES	1,240	1,028	12,897	2,012,234		ヘルスケア機器・サービス	
BECTON DICKINSON & CO	—	218	4,379	683,274		ヘルスケア機器・サービス	
BOSTON SCIENTIFIC CORP	4,700	3,340	30,921	4,824,406		ヘルスケア機器・サービス	

銘柄	期首(前期末)	当期末			業種等
		株数	株数	評価額	
				外貨建金額	邦貨換算金額
DANAHER CORP	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
STRYKER CORP	1,650	1,418	32,093	5,007,242	ヘルスケア機器・サービス
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	700	315	11,153	1,740,221	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
WATERS CORP	594	428	24,493	3,821,488	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
METTLER-TOLEDO INTL INC	—	50	1,926	300,595	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AGILENT TECHNOLOGIES INC	—	12	1,672	260,922	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	140	280	3,911	610,200	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
VEEVA SYS INC CL A	840	1,600	13,292	2,073,942	ヘルスケア機器・サービス
IQVIA HOLDINGS INC	500	535	11,944	1,863,566	ヘルスケア機器・サービス
PENUMBRA INC	285	450	10,001	1,560,465	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
GLAUKOS CORP	670	484	15,101	2,356,177	ヘルスケア機器・サービス
INSPIRE MEDICAL SYSTEMS INC	465	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
ALCON INC	245	60	784	122,332	ヘルスケア機器・サービス
PHREESIA INC	670	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
DOXIMITY INC	1,280	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
SHOULDER INNOVATIONS INC	740	400	1,754	273,659	ヘルスケア機器・サービス
WEST PHARMACEUTICAL SVCS INC	—	46	66	10,313	ヘルスケア機器・サービス
WEST PHARMACEUTICAL SVCS INC	218	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数、金額	30,480	20,315	248,080	38,705,589
	銘柄数<比率>	32銘柄	33銘柄	—	<97.7%>
(オーストラリア・オーストラリア)		百株	百株	千オーストラリア・ドル	千円
SALUDA MEDICAL INC CDI		—	2,000	300	31,113
小計	株数、金額	—	2,000	300	31,113
	銘柄数<比率>	—	1銘柄	—	<0.1%>
ユーロ(フランス・EURONEXT パリ)		百株	百株	千ユーロ	千円
SARTORIUS STEDIM BIOTECH		70	180	3,693	676,076
小計	株数、金額	70	180	3,693	676,076
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	—	<1.7%>
合計	株数、金額	30,550	22,495	—	39,412,779
	銘柄数<比率>	33銘柄	35銘柄	—	<99.5%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) <>内は、純資産総額に対する各別株式評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2025年12月15日現在)

項目	当期末		
	評価額	比率	%
株式	千円		95.6
コール・ローン等、その他	39,651,019		
投資信託財産総額	1,835,511		4.4
	41,486,530		100.0

(注1) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、12月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=156.02円、1オーストラリア・ドル=103.71円、1ユーロ=183.04円です。

(注2) 当期末における外貨建資産(41,210,439千円)の投資信託財産総額(41,486,530千円)に対する比率は、99.3%です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年12月15日現在)

項目	当期末	円
(A) 資産	43,302,790,770	
コール・ローン等	1,696,557,361	
株式(評価額)	39,651,019,051	
未収入金	1,951,817,647	
未収配当金	3,396,711	
(B) 負債	3,679,222,748	
未払金	1,862,962,763	
未払解約金	1,816,259,985	
(C) 純資産総額(A-B)	39,623,568,022	
元本	10,587,602,739	
次期繰越損益金	29,035,965,283	
(D) 受益権総口数	10,587,602,739口	
1万口当たり基準価額(C/D)	37,424円	

(注1) 当ファンドの期首元本額、期中追加設定元本額、期中一部解約元本額は以下の通りです。

期首元本額 13,431,195,241円
期中追加設定元本額 784,967,871円
期中一部解約元本額 3,628,560,373円

(注2) 当ファンドの当期末元本額の内訳は以下の通りです。

　　フィデリティ世界医療機器関連株ファンド(為替ヘッジあり) 987,809,143円
　　フィデリティ世界医療機器関連株ファンド(為替ヘッジなし) 5,583,535,074円
　　フィデリティ・世界医療機器関連株ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用) 3,135,459,328円
　　フィデリティ・世界医療機器関連株ファンド・セレクト(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用) 880,799,194円

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

■損益の状況

当期 自2024年12月17日 至2025年12月15日

項目	当期	円
(A) 配当等収益	150,073,572	
受取配当金	107,102,021	
受取利息	36,695,843	
その他の収益金	6,275,708	
(B) 有価証券売買損益	330,379,076	
売買益	5,349,123,989	
売買損	△5,018,744,913	
(C) 信託報酬等	△9,636,176	
(D) 当期損益金(A+B+C)	470,816,472	
(E) 前期繰越損益金	35,867,591,929	
(F) 解約差損益金	△9,255,761,380	
(G) 追加信託差損益金	1,953,318,262	
(H) 合計(D+E+F+G)	29,035,965,283	
次期繰越損益金(H)	29,035,965,283	

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注4) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

＜お知らせ＞

●2025年4月1日付で投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款中の関連条項に所要の変更を行いました。2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。